

はなまき市議会だより

花の風

第78号

令和6年2月1日

もくじ

- 2 12月定例会の概要、議案審議
- 5 一般質問
- 10 花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会設置ほか
- 11 令和5年度高校生議会
- 14 常任委員会等の活動報告ほか
- 15 請願・陳情・意見書審査
- 16 ちょっと一言、議会の動きほか

表紙写真の説明は3ページ下欄をご覧ください。

議案審議

修正案賛成

【小森田郁也議員】

原案は、市民と一体のまちづくりをどのように進めていくか不透明である。せっかくの市民参画条例の制定であれば、市における市民参画の現状を踏まえ、より市民と一体となったまちづくりを進める条例とすべきであることから修正案に賛成する。

【似内一弘議員】

修正案は、市民が企画立案の段階から関わる内容となっており、意見交換会やワークショップの定義も市民が積極的に関わることを担保していることから、修正案に賛成する。

修正案反対

【佐藤峰樹議員】

本条例は、花巻市まちづくり基本条例第12条第2項に基づき、市政への市民参画に関する基本的事項についてさまざまな検討、調査を行いながら作成されたものであり、市民の市政へ参画する機会は保障されている内容である。また、条例を補完する内容は、花巻市市民参画条例施行規則などで定めることとなっており、本条例の修正は特段必要ないと判断されるため、修正案に反対する。

【櫻井肇議員】

市民参画条例は、まちづくりの主体者である市民が理解できる分かりやすい記述とすべきである。修正案は、原案を否定するのではなく、原案をより市民主体に修正しているものであることから、修正案に賛成する。

原案賛成

【阿部一男議員】

市民参画の段階が不明瞭との指摘等もあるが、制定後の段階で見直しは可能と考える。また、第5条、市民参画の対象に市の基本構想の策定または変更や市民参画を行わないことが可能な場合について規定するなど、わかりやすい表現となっていることから、原案に賛成する。

可決 令和5年度花巻市一般会計補正予算(第11号)

2億8,096万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ総額630億1,640万3千円とするものです。
※市議会が注目した主な補正予算は以下のとおりです。

◆新花巻図書館建設候補地比較調査業務 債務負担行為額1,799万6千円追加

・・・業務完了まで9カ月程度を要することから、期間を令和5年度から令和6年度までとし、限度額を設定するものです。

質疑

●質問・・・調査の内容は、施設の整備や必要経費まで含めての調査となるのか。

答弁・・・花巻駅前と旧総合花巻病院跡地のそれぞれに建設した場合の事業費についてと、建設した際のイメージを市民に比較できる形で示せるような調査をしたいというものである。



審議の様子は
こちら

本補正予算に対して、以下の議員より反対討論と賛成討論が出されました。

□反対討論・・・久保田彰孝議員、本館憲一議員

□賛成討論・・・及川恒雄議員

※討論の内容は、市ホームページのインターネット議会中継(上記QRコード)よりご覧いただけます。

【表紙写真について】

撮影者 花巻市写真愛好者団体「写団光像」^{しゃだんこうぞう} 平宏之進さん^{たいらこうのしん}

内容 東和町で開催された「夢灯り展2023 in 東和」にて、花巻市指定無形文化財である成島和紙を使った、色とりどりの花巻傘のライトアップを撮影した作品です。

花巻市市民参画条例を可決

令和5年第4回花巻市議会定例会は、12月1日から14日までの日程で開かれました。

初日の本会議では、伊藤盛幸議員より、「学校給食費の無償化を求める意見書の提出について」が発議され、文教福祉常任委員会に付託の上、審査することに決定しました。また、議員報酬等の調査検討を行うため、「花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会」を設置することに決定しました。

12月4日から6日までは一般質問に15人が登壇し、市政課題について質問し、7日には議案審議が行われました。提出された議案の中で、市政への市民の参画に関する基本的な事項を定めた花巻市市民参画条例については、議員から、条例の文言をより具体的な内容とする修正案が提出されました。審議の結果、修正案は否決、原案が可決されました。

最終日の12月14日には、新花巻図書館建設候補地比較調査業務などを盛り込んだ、令和5年度花巻市一般会計補正予算(第11号)など4議案が追加提案され、原案どおり可決されました。また、若柳良明議員より、パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議が発議され、全会一致で可決されました。

主な可決議案や質疑は以下のとおりです。

可決 花巻市市民参画条例

市政への市民の参画に関する基本的な事項を定めるものです。



審議の様子は
こちら

質疑

●質問・・・他市では、市民参画の定義に企画立案の段階から市民が主体的に参加する旨を示しているが、なぜ当市の条例には記載がないのか。

答弁・・・市民参画に関しては、すでにまちづくり基本条例に盛り込まれている。市民参画協働推進委員会を設置するなど、当市の市民参画手続きは他市に比べ遜色はないと考えている。

●質問・・・まちづくり基本条例の市民参画の定義を一步踏み込んで、市民参画条例に具体的に定めることが条例制定の狙いではないのか。

答弁・・・市民参画の手続きはまちづくり基本条例にも相当詳しく書かれている。まちづくり基本条例を踏まえて、市民参画条例を定め市政への参画と協働の機会の充実を図りたい。



動議

◆修正案の動議・・・議案第89号花巻市市民参画条例に対し、修正を求める動議が修正案を付して提出されました。

◆修正案の要旨・・・以下の箇所について文言の修正を行う。

○花巻市市民参画条例第2条第3号、同条第6号、同条第7号、第4条第1項、同条第2項

○第4条第2項の次に、次の2項を加える。

3 市の執行機関は、適切かつ誠実に説明責任を果たすよう努めるものとします。

4 市の執行機関は、市民参画に関する調査及び研究を行うとともに、市民参画に対する市民の意識を醸成するよう啓発に努めるものとします。

◆採決・・・原案に賛成、修正案に賛成、修正案に反対に対し、討論が行われました(3ページ記載)。議案第89号に対する修正案であるため、同議案の前に修正案の採決が行われました。結果、賛成少数で修正案は否決されました。

パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を可決

**パレスチナ自治区ガザ地区における
即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議**

花巻市議会は、本市の「非核平和都市宣言」の決議のもと、武力を用いた現状変更の行為を強く非難するとともに、この紛争に関わる全ての当事者及び人質の即時解放、国際人道法を含む国際法の遵守、人道的被害の抑制、支援物資の供給を通じた人道状況の改善を強く求める。

以上、決議する。

花巻市議会は12月14日、若柳良明議員、藤根清議員、佐藤現議員、鹿討康弘議員、久保田彰孝議員、菅原ゆかり議員が連名でパレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議案を発議し、これを直ちに審議。全会一致で可決しました。

※決議全文は市ホームページに掲載しています。

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案 89	花巻市市民参画条例
議案 94	花巻市第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
議案 95	花巻市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案 115	令和5年度花巻市一般会計補正予算（第11号）

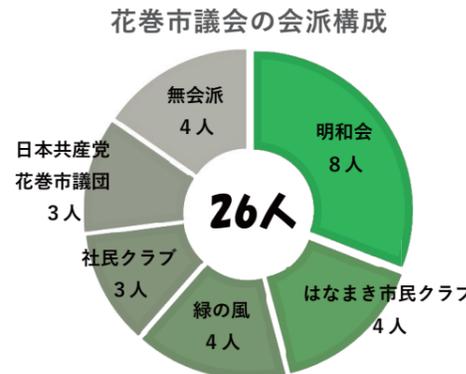
議員名	明和会			はなまき市民クラブ			緑の風		社民クラブ		日本共産党花巻市議会議員団			会派に所属しない		審議結果										
	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山み子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘		伊藤盛幸	照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	大原健	菅原ゆかり
議案 89	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 94	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 95	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 115	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

新会派が結成されました

会派名	緑の風
代表者氏名	伊藤盛幸
構成員	小森田郁也、鹿討康弘、似内一弘、伊藤盛幸
会派理念	「未来を展望したか、市民が参画したか、市民のためになるか」の視点でまちづくりを考え、市民ファーストで政策を研究し、その実現に向けて積極果敢に挑戦・行動する

※令和5年11月1日結成



一般質問

12月定例会では、15人の議員が登壇し、市政全般のことについて質問を行いました。

令和5年第4回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）

本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	①第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン素案について ②JR花巻駅橋上化・東西自由通路の整備について
伊藤 盛幸 議員 (緑の風)	①新花巻図書館の整備について ②市民参画・協働のまちづくりについて
若柳 良明 議員 (社民クラブ)	①農業振興について ②職員の安全衛生について ③ふるさと納税について ④会計年度任用職員について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①土砂災害について ②中小企業支援について
盛岡 耕市 議員 (明和会)	①材木町公園内の施設について ②中高一貫教育について
羽山のみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	①新花巻図書館の整備について ②花巻中央エリア社会実験 2023 について ③生涯学園都市会館について
鹿討 康弘 議員 (緑の風)	①都市計画用途地域について ②8050問題について（※） ③JR花巻駅橋上化・東西自由通路の整備について ※8050問題・・・80代の親が50代の子どもの生活を支えるという社会問題
照井 省三 議員 (社民クラブ)	①地域医療について ②耕作放棄地について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①学校図書館の充実について ②生活困窮者の支援について ③旧東和ふるさと歴史資料館について
小原 保信 議員 (明和会)	①農業振興について ②都市計画用途地域について
小森田郁也 議員 (緑の風)	①男女共同参画について ②熊対策について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①介護保険事業について ②国民健康保険事業について ③花巻空港線バスの利便性向上について
似内 一弘 議員 (緑の風)	①第2次花巻市まちづくり総合計画について ②リノベーションまちづくりについて
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	①熊対策について ②市内火葬場について ③地域公共交通について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①小中学校における熱中症対策について ②小中学校における不登校対策について



もとだて けんいち 議員
本館 憲一



A 一般社団法人日本建設業連合会の直近10月の資料によると、令和3年3月と比較し、建築分野の全建設コストは平均約17%から20%上昇しているとのことである。本整備費においても同様の影響はあるものと認識している。

A 本整備は、安全性確保に加え、駅利用者の利便性向上を図る目的を持つものであり、駅西側地域の維持、発展や住みやすいまちづくりへ向かう一つの基盤となると考えている。新花巻図書館が駅周辺に整備された場合には、にぎわい創出に一定程度の効果があるものと認識している。

Q JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備について
約36億円の概算整備費には、令和2年度までの物価変動を含むとされている。今後において、資材や人件費の高騰による整備費への影響について伺う。

Q 駅周辺のにぎわい創出について、本整備を行うだけの場合と、新花巻図書館が駅周辺に建設された場合とでどのような効果があると考えているか伺う。

■ JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備について



伊藤 盛幸 議員

■新花巻図書館建設場所の意見集約について

Q

建設場所について、科学的根拠(数値やデータ)があれば論点もすっきりする。それを示した上で、市民の意見集約を図るべきと思うが、考えを伺う。

A

今後、建設候補地の比較調査を行いたいと考えており、専門業者に委託する調査により双方の建設候補地の諸条件を整理した比較資料を作成する。その成果を市民に提示し、意見集約を図っていきたいと考えている。



■地域づくり活動の充実について

Q

コミュニティ会議の代表者と市長が直接意見交換を行い、行政と地域の協働の在り方や未来を語るなど、共通理解を深めることが大切だと思いが、考えを伺う。

A

現在、コミュニティ会議が運営する市政懇談会へ可能な限り出席しており、そのような機会を通じて情報交換はできていると考えます。今後、コミュニティ会議の在り方等について修正が必要と考える場合は、まずは事務レベルで検討し、必要に応じて話し合いを行いたいと考えています。

■市職員の病気休暇の実態について

Q

令和5年度の病気休暇の人数および主な内訳について伺う。

A

病気休暇を取得した職員は159人であり、そのうち精神疾患によるものが30人、精神疾患以外によるものが129人となっている。令和4年度と比較すると、精神疾患以外によるものが大幅に増加しているが、新型コロナウイルスが5類感染症に変更になったことに伴い、特別休暇の対象としていた取り扱いを病気休暇としたことが主な要因であると捉えている。

■ふるさと納税の返礼品について

Q

令和5年度において人気のある返礼品の上位5品目を伺う。

A

返礼品を寄付額順に集計すると、株式会社ネクサスの牛タン、同じく同社のハラミ、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社市内工場で生産されているお茶などの飲料、高源精麦株式会社の白金豚、ハヤチネフーズの飲むヨーグルトとなっている。

■土砂災害について

Q

令和4年8月14日、新鉛温泉と鉛温泉スキー場の中間地点にて発生した土砂災害の状況について伺う。

A

当該箇所は土砂災害警戒区域ではないが、県道西側斜面の上部を起点に発生し、道路部に幅14メートル、高さ80センチメートルにわたり土砂等が流出し、車両が通行できなくなった。前日からの雨により危険度が増していた中、発災数時間前の短時間にこれまでにない大雨が降ったことによるものと推測している。



Q

迂回路の整備について伺う。

A

本土砂崩れの際には、普通自動車で訪れた宿泊客に対し、既存の市道鉛・花巻温泉線や県道297号を迂回路として通行する手段で対応した。当該迂回路については、冬期間の除雪の問題や宿泊客が安全に走行できるよう、令和4年9月定例会にて補正予算を計上し、令和4年12月下旬には砂利道区間のアスファルト舗装とガードレールの整備を行っている。



盛岡 耕市 議員

■材木町公園内の施設について

Q

材木町公園馬面電車修繕調査設計業務委託の進捗状況について伺う。

A

今回の業務委託では、令和4年度の調査で示された修繕方針3案の比較検討のための図面、数量、作業工程などの資料を作成することとしている。いまだ調査中であるが、令和4年度の調査で判明した欠損部品などを復元するための参考資料について、書籍などを調査、収集しているところであり、令和6年3月には調査結果が提出されることとなっている。



Q

閉館中の市民の家の活用について伺う。

A

過去に開催した市民説明会において、市民の家を残してほしいとの意見が世代を問わずあったことから、専門家に調査いただいたところ、活用できる可能性があるとの見解をいただいた。活用方法として、現在の花巻図書館を花巻コミュニティセンターとして利用することを考えた場合、市民の家を整備し安全に利用することができれば、一時的に花巻コミュニティセンターの移転先として利用する可能性も考えられる。

■新花巻図書館の整備について

Q

駅前候補地は、スポーツ施設撤去費用に加え付帯工事費も市の負担となる。他に立体駐車場の建設費および管理費、将来は経年劣化による撤去費用もかかる。人口減少を勘案すると、未来に大きなツケを残すことにもなると考えるが見解を伺う。

A

新しいインフラ整備については、将来のこととも見据えて整備することも必要と考える。きちんと整理をした上で具体的に提示し、議論をしていきたい。

Q

図書館はまちづくりの役割も持つ。図書館利用者が駅前で完結するのではなく、まなび学園周辺から大堰川プロムナードを散策したり回遊することで、近隣の飲食店に立ち寄るなど、市街地活性化につながると思われるが、市の見解を伺う。

A

図書館は基本的に読書や調査に使われる。観光要素的な面では強い影響を与える施設ではないと考えている。



久保田彰孝 議員

令和5年度において人気のある返礼品の上位5品目を伺う。

Q

令和4年8月14日、新鉛温泉と鉛温泉スキー場の中間地点にて発生した土砂災害の状況について伺う。

A

当該箇所は土砂災害警戒区域ではないが、県道西側斜面の上部を起点に発生し、道路部に幅14メートル、高さ80センチメートルにわたり土砂等が流出し、車両が通行できなくなった。前日からの雨により危険度が増していた中、発災数時間前の短時間にこれまでにない大雨が降ったことによるものと推測している。

Q

迂回路の整備について伺う。

A

本土砂崩れの際には、普通自動車で訪れた宿泊客に対し、既存の市道鉛・花巻温泉線や県道297号を迂回路として通行する手段で対応した。当該迂回路については、冬期間の除雪の問題や宿泊客が安全に走行できるよう、令和4年9月定例会にて補正予算を計上し、令和4年12月下旬には砂利道区間のアスファルト舗装とガードレールの整備を行っている。



しゅうろ やすひろ 鹿討 康弘 議員

8050問題について ※説明は5ページ一覽表参照

Q

地域共生社会の実現に向け、重層的支援体制整備事業を導入する考えはないか伺う。

A

現在、8050問題の相談対応は、地域包括支援センターと障がい福祉課が中心となり関係機関と連携を図り対応している。相談内容は複雑かつ複合化しており、課題解決のための連携体制づくりは必要と認識していることから、令和6年1月に研修会を行う予定としている他、県内の先進地事例を参考にしながら、実施について検討していきたいと考えている。



Q

JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備について

A

本整備の理由の一つ「駅を中心とした魅力あるまちづくり」には、西口開発も含まれているのか伺う。西口には改札口がなく、公共地下道は暗い印象があり、安心して利用できる施設とない状況が続いている。こうした状況を改善するため、安全安心に利用できる施設として整備を行うものがある。また、西口整備により、利便性の向上が図られるとともに、民間の経済活動を含めた様々な動きにとって、ポジティブな要因として働くことを期待している。



はやま みみ 羽山み子 議員





照井 省三 議員

■地域医療について

不足している診療科の今後の見通しについて伺う。

A

市民アンケートでは、耳鼻咽喉科や産婦人科が不足しているとの回答が多い。耳鼻咽喉科は、総合花巻病院の外來開設を増やしていただくことが考えられるため、病院からの要望があれば補助を行うことを検討していきたい。産婦人科は、周産期医療の中心となる県立中部病院において、必要とされる医師数に達していない状況にある。市では、分娩を取り扱う市内唯一の産婦人科に対し補助を行



い、通常分娩に対応いただいている。

■耕作放棄地について

放棄地の周辺環境に及ぼす影響について伺う。

A

農村地帯では、害虫の発生や大型獣のすみかや通り道となる危険性があり、住宅地域では、害虫の発生やタヌキ、ハクビシン等の小動物のすみかや通り道となる懸念される。対策として、農地所有者に維持管理の徹底をお願いするとともに、各地域での遊休農地の解消事例を検証し、新たな取り組みの実践を目指すこととしている。

■学校図書館の充実について

学校図書館支援事業の評価および拡充について伺う。

A

学校図書館の充実を図るため、令和5年度より若葉小学校と花巻北中学校に学校図書館司書2人を配置した。両校とも図書貸し出し数が増加し、児童生徒の学校図書館の利用促進が図られていると捉えている。令和6年度から令和8年度まで小中学校を兼務する形で市内全中学校区に学校図書館司書の配置を計画しており、令和6年度の配置を考えている。



照井 明子 議員

■福祉灯油について

福祉灯油の実施および市独自に上乗せを行う考えはないか伺う。

A

県では、市町村が実施する灯油助成事業に対し、基準額の2分の1を補助することを決定した。市では、この県の補助を活用し、対象世帯に対し1世帯当たり7千円の助成を実施する。また、市独自の上乗せとして、県が助成対象とする住民税非課税世帯に加え、住民税均等割のみ課税世帯も対象に助成を行う。



おほら やすのぶ 議員

■米の高温障害等に対する支援策について

高温障害等の影響により、一等米が減少することで経営への影響は大きくなるが、農家の収入減少に対する支援策について伺う。

A

米の集荷が12月下旬まで続くことから、一等米比率や収穫量などが確定し、今年産の状況が明らかになった時点において、農業関係団体の意見を伺いながら、必要に応じて農業経営の安定化につながる支援策について検討していく。



■用途地域変更について

(仮称)花南産業団地を魅力あるものにするため、工業地域指定を行い、建ぺい率60%、容積率400%に変更する考えはないか伺う。

A

(仮称)花南産業団地の整備区域は、工業地域として指定する変更手続きを行っており、建ぺい率は60%に変更予定としているが、容積率はこれまでの状況や各種法令、基準等を踏まえ、200%にする予定としている。仮に企業から容積率400%の要望がある場合は、必要に応じて検討していきたい。



こもりたふみや 小森田 郁也 議員

■熊対策について

熊出没時の出勤件数および今後の組織体制の強化について伺う。

A

出勤件数は、令和4年度が192件に対し、令和5年度は11月20日時点で476件である。今後も熊の出没が続く可能性があるため、有害鳥獣対策アドバイザーの増員、花巻市鳥獣被害対策実施隊の定員の増、岩手大学の専門家の助言をお願いすることを検討しており、現在の体制を拡充し、被害の防止に努めていく。



令和5年度に行った熊出没時の小中学生の帰宅支援および令和6年度以降の支援体制の構築について伺う。

A

令和5年度は、特に市街地での熊の出没が増えたことにより、保護者による送迎が困難な場合に児童生徒の安全確保のため市が必要と判断した都度、緊急的、臨時的な代替手段として児童生徒の送迎を実施した。現行の熊出没時の対応マニュアルには、児童生徒の安全な送迎の対応方法が盛り込まれていないため、改訂版のマニュアルを整備していく。

■介護保険事業について

令和6年度からの第9期介護保険事業計画における保険料額の見直しを伺う。

A

本市の人口推計によると、保険料を負担する65歳以上の高齢者人口は減少する見込みであることから、保険料基準額は上昇することが見込まれている。国からの介護報酬の改定内容などを受け、保険料を示すこととなるが、介護給付費準備基金の活用をすることもに、介護予防の推進により、可能な限り保険料上昇の抑制を図っていく。



さくらい はじめ 議員

■国民健康保険事業について

全国的に国保税を引き上げる自治体が目立つが、令和6年度に税率改定を行う予定があるか伺う。

A

国保税率は、平成30年3月に花巻市国民健康保険条例を改正し定めたものであり、令和6年度も同じ税率とすることとしている。しかしながら、平成30年度の国保税率の引き下げ以降、歳出が歳入を上回り、毎年度基金を取り崩している状況であることから、基金の残高状況によって、国保税率の見直しも検討していく必要があると認識している。



■花巻市まちづくり総合計画について

第二次花巻市まちづくり総合計画策定後の市民への周知について伺う。

A

長期ビジョンについて、市民が見やすく親しみやすい概要版を作成し、全世帯への配布を予定している。また、長期ビジョンを紹介する15分程度のスライド動画を作成し、市ホームページで公開することを検討しており、総合計画が身近なものとして捉えていただけるよう周知に努めていく。



いない かずひろ 似内 一弘 議員

■リノベーションまちづくりについて

花巻リノベーションまちづくり構想策定後の取り組みに係る評価および今後の方針について伺う。

A

構想の中で描かれている将来像の一部の実現のためのワンステップとして、社会実験の実施および現在の取り組みにつながった点の一つの成果と捉えている。また、年に数件ではあるが、まちなかに新規参入した事業者がいることも一定の成果であり、今後も中心市街地の空き店舗や公共空間の活用を通じて、民間事業者とともに支援をしていく。



佐々木精市 議員



熊対策について

被害防止対策について伺う。

A

被害防止対策として、関係機関や関係部署への熊出没情報の提供、市ホームページや広報紙による対策の周知、市公式SNS等による目撃情報が寄せられた際の注意喚起、捕獲体質の増設による捕獲体制の強化、有害鳥獣対策支援員によるパトロールを行っている。また、熊の誘因物となり得る柿や栗の木の伐採に対する補助金の創設について検討している。

斎場のエアコン設置について

市内にある斎場のエアコン設置状況について伺う。

A

大迫斎場は、待合ロビーと待合室、石鳥谷斎場は、待合ロビー、待合室、収骨室、東和斎場は、待合ロビーにそれぞれ設置されている。老朽化や故障などの現状を踏まえ、随時修理、更新を行っていく予定である。

不登校対策について

不登校児童生徒の保護者に対する支援について伺う。

A

令和5年度は、まなび学園に設置している風の子ひろばの教育相談員を増員して教育相談体制を強化し、従来行ってきた保護者の電話や来所による相談だけでなく、教育相談員の方から学校や家庭に出向くアウトリーチ型の支援を行っている。フリースクールなどの民間団体とも連携を図り支援しており、今後不安や悩みを軽減、解消できるような支援を行っていく。



菅原ゆかり 議員

一人一台の端末を活用した児童生徒の健康観察、相談体制の整備について伺う。

A

現在、児童生徒の学力や日常的な行動、心身の健康状態などの多様なデータを校内で一元的に管理するための総合型校務支援システムを県内すべての公立学校で統一し、運用するための準備が進められている。市では、令和6年度中に導入予定としているが、今後、機能や活用方法について先進事例を参考にしながら進めていく。



令和5年度高校生議会を開催



一般質問に登壇した花北青雲高等学校 小川りかこさん



議長を務めた花巻農業高等学校 千田佳季さん

花巻市議会広聴特別委員会が企画した高校生議会が、令和5年10月24日に行われました。今回で2回目の開催となり、今回は6校での開催でしたが、今回は市内7校に参加をいただきました。高校生総勢19人が花巻市議会議場に参集し、花巻市に対しさまざまな観点で一般質問を行いました。

大迫高等学校



左から 高橋 知希さん、佐々木 円さん (議長席)、菊池 昊介さん

質問

運転免許を持たない高校生や高齢者にとって、公共交通機関は重要であるが、大迫総合支所から東北本線の最寄り駅までは14キロメートル、路線バスも1日5本だけといった状況である。大迫地区の公共交通の充実について伺う。

答弁

大迫地域のバス路線については平成18年から市が赤字を全て負担して維持、確保に取り組んでいる。現在、令和6年度から5年間を計画期間とする花巻市公共交通計画の策定作業中であるが、幹線バス路線の大迫石鳥谷線や、大迫花巻線の維持や再編、予約乗り合いバスの効率化、利便性向上について交通事業者と連携して取り組み、市民や観光客が利用しやすい公共交通の維持、確保を図りたいと考えている。

花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会を設置

花巻市議会議員の報酬等について調査検討を行うため、12月1日、市議会に特別委員会を設置しました。同委員会は、議長を除く全議員で構成されています。同日開かれた第1回委員会では正副委員長の互選を行い、委員長に高橋修委員、副委員長に佐藤現委員を選出しました。

この日の委員会では、特別委員会を円滑に運営するため、委員会内に小委員会を設置すること、小委員会の委員定数を8人とすることなどを確認。12月12日に開催した委員会でも小委員会に関するなどを正式に決定しました。

議員活動や報酬の在り方を検証

花巻市議会議員の報酬については、平成23年9月に花巻市議会議員定数および議員報酬調査検討特別委員会を設置して調査検討を行いました。改定には至らず、合併以降現在まで、報酬額は変わっていません。しかし、議員としての責務と活動領域は拡大し、議員の専門性が求められることや、若い世代や女性など多様な人材が議会に進出しやすい経済的な活動基盤を確保していく必要があります。

このため、市の財政や地域経済の動向や全国的な議員報酬月額の推移を見極めた上で、改めて議員活動および議員報酬について検討していく必要があることから、特別委員会を設置して、議員活動の検証と報酬の適正な在り方の調査検討を行うこととしました。

高校生議会

花巻東高等学校



左から
こやま ななみ
小山 七海さん
きくち まい
菊池 麻以さん（議長席）
かわはら ちさと
川原 千知さん

質問

通学路の曲がり角で車が確認しづらく危険を感じたことがあるが、どのような場所にカーブミラーを設置しているのか。また、通学路の自転車ロードには街灯がなく、防犯上の問題もあることから、街灯を設置し、安全に下校できる環境を整備いただけるのか伺う。

答弁

市道を新しく整備する際、道路構造上、見通しが悪い箇所にカーブミラーを設置している。整備については、日頃から道路課の窓口で相談を受けている他、毎年各行政区や学校から改善要望をお受けしている。自転車ロードは県が維持管理していることから、県へ連絡したところ設置済みの街灯に故障が確認されたことから修繕の手配をいただいた。また、街灯の設置場所について具体的な提案をいただければ県にお伝えしていく。

質問

総合体育館の利用促進のため、部活動やスポーツ少年団活動での料金の減免や、市外在住者と市民で料金を変更するなど使用料の見直しを検討するということだが、現在の検討状況と、市民や利用者の意見の集約方法について伺う。

答弁

現在、部活動やスポーツ少年団活動の使用料について、減免額の試算を行うなど使用料の検討をしており、準備ができ次第周知を図り、早ければ年内にも減免を開始したいと考えている。使用料に関する意見の集約については、市内のスポーツ施設全てが対象となることから、それぞれの施設利用者や各競技団体からも意見を聞くため、まずは施設利用者からアンケート形式により意見を聴取することとし、出されたご意見をもとに検討していく。

花巻農業高等学校



左から
ちだ かあき
千田 佳季さん
くぼ いっせい
久保 壺星さん

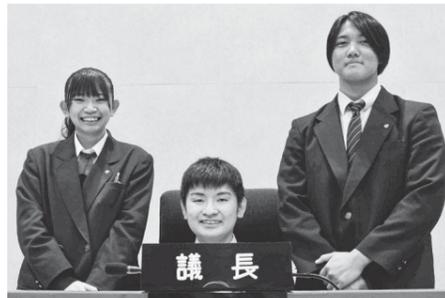
質問

若者の地元離れの原因は、若者が花巻市に十分な魅力を感じていない点や、住みにくさだと考える。若者が楽しめる遊び場や、大型商業施設の整備を行い、医療制度の充実や安心して子育てができる環境づくりが必要と考えるが、市の取り組みについて伺う。

答弁

大型商業施設の立地は、採算が取れるとの民間事業者の経営判断がなければ難しい点がある。医療制度の充実については、医療費助成制度の拡充を行っており、安心して子育てできる環境づくりについては、花巻保健センターに子育て世代包括支援センターを設置し、妊婦に寄り添った支援を実施している。若者の地元離れに対しては、第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンにおいて、重点施策推進プロジェクトを設定し、効果的な事業を検討していく。

花巻南高等学校



左から
さとう あやね
佐藤 彩音さん
いとう こうた
伊藤 昂太さん（議長席）
こせきせいのすけ
小関誠之助さん

質問

花巻市の魅力発信の方法並びに内容について、SNSを利用する若年層へのアプローチについて考えを伺う。また、県外の方が利用する空港や新幹線駅周辺の魅力化、活性化についての考えを伺う。

答弁

本市では、市ホームページをはじめ各種SNSを活用し、情報発信を行っているが、認知度が低い状況にあるため、今後さらに旬な情報発信を続けるとともに、新たな情報発信ツールの導入も随時検討する。空港や駅周辺の魅力化について、その必要もあると考えるが、花巻は魅力的な観光資源が多くあるため、目的地までの公共交通の充実と市内周遊を促す取り組みが重要と考えており、今後検討していく。

花巻清風支援学校



左から
おいかわ こうすけ
及川 幸輔さん
くぼ かいと
久保 快斗さん

質問

災害発生時の避難所の設備等について3点伺う。1点目は、国内外の観光客や文字を読むことが困難な方への避難所の周知について伺う。2点目は、避難所の電源確保について伺う。3点目は、避難所でのプライバシーの確保について伺う。

答弁

1点目は、道路上に多言語対応の誘導看板を設置し、災害時には市ホームページ、SNS、携帯各社の緊急速報メール等で周知を図っている。デジタル・デバイスで受け取る情報は、翻訳機能等を活用することで、外国人の方や、文字を読むことが難しい方も情報を得ることができる。2点目は、各指定緊急避難場所に、非常用電源として発電機とポータブル蓄電器を配備している。3点目は、間仕切りと避難用テントを配備し、プライバシーの確保に努めている。

花巻北高等学校



左から
あべ はるき
阿部 遙輝さん
いとう しょうま
伊藤 翔真さん（議長席）
ながはた ひりゅう
永島 緋竜さん

質問

新花巻図書館の建設場所について、今後どのように選定する予定なのか。また、新花巻図書館はバリアフリーが進められ、幅広く利用者が使いやすい施設となってほしいと願っているが、どのような施設設備が検討されているのか伺う。

答弁

駅前のスポーツ用品店敷地と旧総合花巻病院跡地について、図書館の整備事業費や建物のイメージなど、専門家の意見を伺い、市民が比較検討できる資料を作成し、市民の皆様へ提示の上、意見集約をしていきたいと考えている。また、新花巻図書館整備基本構想では、「すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館」を基本方針の一つに掲げており、この構想に基づき、設備について具体的に検討しているところである。

高校生議会

花北青雲高等学校



左から
こすが ももか
小管百々花さん
こがわぐちゆめか
小川口夢香さん（議長席）
うしぎき みこと
牛崎 美琴さん

常任委員会等の活動報告

文教福祉常任委員会

- ◆ 11月13日(月)
 - * 行政視察
 - 山形県新庄市「義務教育学校について」
 - 酒田市「酒田市障がいのある人も共に生きるまちづくり条例について」
- ◆ 11月28日(火)
 - * 行政視察の振り返りについて
- ◆ 12月8日(金)
 - * 請願審査
 - 「保育所等保育施設の人員確保・職員配置基準改善を求める意見書の提出を求めることについて」
 - ▷ 審査結果・・・採択
 - * 意見書案審査
 - 「学校給食費の無償化を求める意見書の提出について」
 - ▷ 審査結果・・・可決

総務常任委員会

- ◆ 11月14日(火)
 - * 行政視察の振り返りについて
- ◆ 12月8日(金)
 - * 協議「政策提言について」
- ◆ 1月22日(月)
 - * 協議「政策提言について」

産業建設常任委員会

- ◆ 11月22日(水)
 - * 所管事務調査「公共交通について」
- ◆ 12月11日(月)
 - * 所管事務調査「公共交通について」
- ◆ 12月25日(月)
 - * 協議「政策提言について」

議会改革推進会議

- ◆ 12月12日(火)
 - * 政策提言について
- ◆ 1月22日(月)
 - * 政策提言について

総務常任委員会行政視察報告

10月30日、31日に行政視察を実施しました。

テーマ「投票率向上に係る取組について」

○栃木県那須塩原市
若い世代の投票立会人の募集や、「若者と選挙を語る会」など、市独自の啓発活動を展開しており、一定の効果が期待できるものと感じました。

○岩手県一関市
移動期日前投票所の導入や、投票所入場券に公共交通利用助成を印刷して配付する移動困難者への支援など、市独自の施策を行っており、一定の効果が期待できるものと感じました。

○岩手県奥州市
合併以降、投票区の減に合わせてポスター掲示板数も減らしており、人口も面積も下回る当市においても設置場所や設置数について見直しを図る時期に達しているのではないかと感じました。また、地元高校生の協力を得て選挙啓発活動の動画を作成するなど、市独自の取り組みを行っており、投票率向上に向けての意欲を感じました。

文教福祉常任委員会行政視察報告

11月13日に行政視察を実施しました。

○山形県新庄市 テーマ「義務教育学校について」
令和3年4月に開校した「明倫学園」の視察を実施。学園の特徴として、いじめや不登校が確実に減少していること、学力も確実に向上していることが挙げられ、学園の授業風景でも子どもたちの生き生きとした姿が感じとられ、義務教育学校としての成果がうかがえました。

○山形県酒田市
テーマ「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について」
条例制定後の特徴として、障がいのある人と共に暮らすのが当たり前という共生社会の理念に基づき、心のバリアフリーが根付くよう、市職員が率先して障がい者対応の徹底を図ってきたことが挙げられます。「障がい者共生社会」の考え方について、市職員と市民の間で根付かせる取り組み等について、庁内で共有・調整を行っている点は、大いに参考となるものであります。

請願・陳情・意見書審査

12月定例会では、文教福祉常任委員会
が第7号請願および意見書案第3号、広
報特別委員会が第6号陳情の審査を行
いました。審査の結果、第7号請願は採
択、意見書案第3号は可決、第6号陳情は不
採択すべきものと決しました。

◆第7号請願(採択)
保育所等保育施設の人員確保・職員配
置基準改善を求める意見書の提出を求め
ることに ついて

審査において、委員からは「日本はOEC
D配置基準を大幅に下回っている、国は75
年ぶりに一部改善したが内容は不十分だ」
「処遇改善は、安定雇用として安全安心の保
育の質の向上のためにも必要である」「国
の責任として、職員の人員確保策を迅速に
策定、実施すべきである」などの意見が出
されました。

採決の結果、全会一致で採択すべきもの
と決しました。

◆意見書案第3号(可決)
学校給食費の無償化を求める意見書の
提出について

審査において、委員からは「全国の子ども
たちが教育としての学校給食を保障される
ためにも、国が責任をもって無償化すべ
きだ」「給食は教育の一環であり、国が一律に
負担すべきである」「国で恒久的な給食費

の無償化を実現してほしい」などの意見が
出されました。

採決の結果、全会一致で意見書案を原案
どおり可決すべきものと決しました。

◆第6号陳情(不採択)
市議会の配信方法の改善について

審査において、委員からは「ユーチューブ
のおすすめ動画が上がってくる機能等は見
やすく、知り合いなどにも動画の共有がし
やすい点は、現行のインターネット議事中
継のサイトにはない部分である」といった
意見が出された一方、「ユーチューブは無償
サービスであるため、動画が削除されたり
事業の廃止が発生する危険性を含んでい
ることから、安定した配信が保障されてい
ない」といった意見が多く出された他、配信環
境整備に係る費用についても議論されまし
た。その他、「配信環境整備にかかる費用と
視聴回数等との費用対効果について、他市
の状況を調査、研究した上で、実施できる方
法がないか継続して審査する必要があるの
ではないか」との意見も出されました。

採決の結果、全会一致で不採択すべきもの
と決しました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行
い、採決を行った結果、それぞれ委員長報告
のとおり決しました。

※請願・陳情全文は市ホームページに掲載し
ています

意見書を提出

◆学校給食費の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第2条でその目標が掲げられ、学
校では給食を通じた食育が推進されています。その意義は
大きく、教科学習とともに子どもたちの心身共に健やかな成
長に大きな役割を果たしています。

一方で、新型コロナウイルス感染症による経済的影響
や、原材料不足による物価上昇などにより、家庭経済は大
きな影響を受けています。子育て世代にとって学校給食費は
家計費を圧迫し、多子世帯ほどその負担が大きくなっています。
花巻市議会は、国において学校給食費の無償化を早期に実
現されるよう要望します。

◆保育所等保育施設の人員確保・職員配置基準を求める意見書

保育士の保育施設配置基準を少なくとも先進国並みの配
置基準に改善すべく、政府に対し、次のとおり要望します。

- 1 保育施設の配置基準をOECD先進国並みの配置基準
に改善すること。
- 2 保育施設・児童保育施設等職員の処遇を改善し、標準的
な労働者の年収を確保するための予算を措置すること。
また、正規職員としての就労を希望する非正規職員の正
規化で雇用安定を促すための支援策を講ずること。
- 3 保育施設・児童保育施設で働く職員の人員確保を迅速に
策定・実施すること。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています



ささき なるき 佐々木 成樹 さん (大迫高校1年)

花巻市の未来へ ちよっと一言。



あべ のりこ 阿部 紀子 さん (石神町)

新世代からの提案

私はよりよい花巻市を作るためには幅広い世代への対応が必要だと思います。最近、共稼ぎの家庭が増えており、子供を学童へ預けておく機会が多くなると感じます。そこで、学童保育の費用を削減したり小中学校の給食費を無償化するなどの取り組みをすれば家庭内の負担が少なくなると思います。

また、少子化が進むからこそ、若者がもっとボランティアとして活動できれば良いと思います。例えば、花巻市内の道路設備がまだ行き届いていない所があるのが気になります。行政だけでなくボランティアなどを活用して社会資本の維持管理が継続できると良いと思います。

花巻への提言

とにかく花巻が好まされ、生まれも育ちも花巻だ。花巻北高校卒業後、国内外数カ所に住んだが、このような美しい場所はないと思はなかなかないと思う。近年、大谷翔平、菊池雄星両選手の活躍で知名度も上がっている。が、まだまだ花巻の魅力は国内外に伝えられていないと思う。花巻は外から見ると観光資源の宝庫である。賢治の

表現そのままの景色。水も空気も良く農産物もおいしい。観光ルートは空港もあり、かなりの可能性がある。今後、観光に力を入れて、花巻の特産品、農作物や酒類などの販売促進ができないだろうか。各生産者の日々の努力がまっとうに報われてほしい。農業人口の減少も食い止めた

議会の動き 11月～1月

- 11月6日 各派代表者会
- 7日～9日 議会報告会
- 13日 文教福祉常任委員会行政視察
- 14日 議員説明会、総務常任委員会
- 21日 岩手県市議会議長会議員研修会
- 22日 産業建設常任委員会
- 28日 議会運営委員会、各派代表者会、文教福祉常任委員会
- 12月1日～14日 令和5年第4回定例会
- 1日 議会運営委員会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会、広報特別委員会、広聴特別委員会
- 7日 議会運営委員会、議員説明会、市政調査会役員会
- 8日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会、議会運営委員会
- 12日 広報特別委員会、広聴特別委員会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会、議会改革推進会議
- 14日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 20日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 21日 議会運営委員会
- 25日 産業建設常任委員会
- 26日 広報特別委員会
- 令和6年
- 1月11日 広報特別委員会
- 18日 広報特別委員会
- 19日 広聴特別委員会
- 22日 議会改革推進会議、議員全員協議会、各派代表者会、市政調査会研修会、総務常任委員会

議会傍聴にぜひお越しを！！

【12月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 44人

【3月定例会】

2月27日（火）開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598（直通）

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を送っています。

委員	阿部 一男	櫻井 肇	佐々木 精市	伊藤 忠宏	及川 恒雄	鹿討 康弘	小森田 郁也
副委員長	小原 保信	委員長	羽山 るみ子	【広報特別委員会】			